

# 千葉大学医学部附属病院で帝王切開子宮癒痕症に対する手術をされた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年1月8日

産科・婦人科

現在産科・婦人科では、当院における帝王切開子宮癒痕症ていおうせっかいしきゆうはんこんしょうに対する手術成績について検討する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2008年4月1日～2025年12月24日の間に当院で帝王切開子宮癒痕症の診断を受けられた方を対象に、2026年1月7日までの診療情報を利用する。

### 1. 研究課題名

当科における帝王切開子宮癒痕症に対する子宮癒痕部修復術についての検討

### 2. 研究期間

2026年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

### 3. 研究の目的・方法

帝王切開子宮癒痕症に対する外科的治療方法には開腹手術、子宮鏡手術、腹腔鏡手術があります。この研究は特に、腹腔鏡下・子宮鏡下手術を受けられた方の手術成績や妊娠・分娩経過を検討し、今後の治療に役立てることを目的としています。

帝王切開子宮癒痕症は帝王切開後に、帝王切開により生じた子宮筋層の癒痕が原因で不妊、月経終了後の褐色帯下の流出、月経困難症をきたすとされています。帝王切開子宮癒痕症による症状で日常生活に支障をきたす場合、あるいは不妊で生殖補助医療を行っても妊娠に至らない場合に手術を行っています。当科では2008年より開腹手術による子宮癒痕部修復術を行っており、さらに、2020年からは子宮鏡手術を、2023年か

ら腹腔鏡手術も行っています。本研究の目的は、子宮瘢痕部修復術の手術成績と術後の妊娠帰結を明らかにしたいと考えています。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

診療記録より得られた年齢・既往帝王切開回数・治療内容・術前後の残存子宮筋層の厚さ・妊娠の有無

#### 5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：産科・婦人科 教授 甲賀 かをり

#### 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院産科・婦人科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

#### 7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

産科・婦人科 医員 百武 沙綾

043 (222) 7171 内線6893